

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Rel.7.0a	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.7i ・F-Secure アンチウイルス クライアントセキュリティ 8.0	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード		
	瞬間復元ドライブ	Seagate社製(ST380815AS、ST3160815AS)かつ、ファームウェアが4.CGAのハードディスクを搭載したPCで、瞬快にて修復ポイントの設定を行うと、処理が停止してしまう場合がある。	修復ポイントの設定時のハードディスクの書き込み処理において、想定値以上の時間を要する場合があったため、書き込みタイミングを見直し、問題を回避しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	クライアントPCの環境変更は、修復無効モードに変更してから実施してください。(更新モードを使用しないでください)	
	瞬間復元ドライブ	ファイルシステムに異常がある場合に表示される「ファイルシステムに異常があります。修復無効モードに変更するもしくは、本製品をアンインストールしてから至急チェックディスクをしてください。」のメッセージが、ファイルシステムの異常を修復した後も表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	「\$scrap\$@&&」という名前のフォルダが、各ドライブのルートに存在すれば、削除を行ってください。	
	瞬間復元ドライブ	レジストリのパスの長さが260バイトを超える場合において、Windowsのシャットダウン直前に、0x19のSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	なし	
	瞬間復元ドライブ	画像を大量に貼り付けであるパワーポイントのスライドを、瞬快クライアントがインストールされた環境で開くと、リソース不足が発生し、スライドショーが正常に実行できなくなる場合がある。	特殊なファイルオープンにおけるメモリ使用のチューニングを行いました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	なし	
	クライアント機能	WindowsVistaに瞬快クライアントをインストールした環境で、Windowsに異常が発生した場合、スタートアップ修復が自動的に動作し、ファイルやレジストリが消失する現象が発生する場合がある。	WindowsVistaに瞬快クライアントをインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作しないように設定を変更しました。 瞬快クライアントをアンインストールした場合は、スタートアップ修復が自動的に動作する設定になります。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード ※OSがVistaの場合のみ	なし	
	クライアント機能	修復無効モードであるにもかかわらず、タスクトレイに表示される瞬快のスパナアイコンが青色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	一度Windowsからログオフして、再度ログオンしてください	
	サーバ機能	瞬快サーバをインストールしたコンピュータに対して「Windows Update」または「Microsoft Update」を実行すると「KB948109」の適用に失敗します。	マイクロソフト社より公開されているセキュリティ更新プログラム「KB948109」の問題を回避するロジックを組み込みました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	「KB948109」の問題を回避するための修正モジュールを弊社で用意しております。	
	リモート画面操作機能	クライアントPC側でモニタリングされていないにも関わらず、「モニタリング中」と書かれたステータスウィンドウが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の実行結果ログに表示されるWUAPIのエラーコードは10進数で表記していたが、マイクロソフト社などのホームページには16進数で表記されているので、エラー発生時の原因調査がしづらい。	実行結果ログにはWUAPIのエラーコードを16進数と10進数の両方で表記するように改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 全グレード	なし	
	システムリカバリ機能	同時に100台を超えるような多台数へのディスクイメージ配信処理において、マルチキャスト配信処理終了直後にエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	多台数のクライアントに対してマルチキャスト配信を実施する場合は、一度に配信するクライアント台数を70台程度に抑え、数回に分けて配信を実施してください。	
	利用情報収集機能	修復無効モードの瞬快クライアントがインストールされたPCのディスクイメージを取得し、別マシンに配信した場合に、配信先のクライアントPCで利用情報収集機能の電源オン・オフのイベントが取得できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0以前 【グレード】 上 上+資源OP 特上	瞬快クライアントは、ディスクイメージに含めず、配信時の後処理のクライアントインストールで行ってください。	
Rel.7.0b	vPro連携機能	機能追加	vPro連携機能を新たに搭載しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード		
	リモート画面操作機能	機能追加	クライアントPCから管理側へのファイルをコピーする「ファイル回収機能」を新たに搭載しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード		
	リモート画面操作機能	機能追加	モニタリングしているクライアントPCにログオンしているユーザーアカウントを一覧で表示する「ログオンアカウント一覧」を新たに搭載しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード		
	リモート画面操作機能	機能改善	以前のバージョン (Rel.5.0系/Rel.6.0系) の瞬快リモート画面操作クライアントをモニタリング/遠隔操作できるように対応しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード		
	リモート画面操作機能	機能改善	リモート画面操作機能でクライアントPCのキーマウスロックやブラックアウトをした状態で管理コンソールを終了させようとする、解除するか確認画面が表示されるように機能改善しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード		
	資源配付	機能追加	台帳機能を新たに搭載しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上		

瞬快Rel.7.0系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	資源配付	機能改善	資源配付後にクライアントPCの電源をOFFにした状態で完了する機能を追加しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上		
	瞬間復元ドライバ	Windowsのフォルダダイレクト機能を利用しているPCに、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位でインストールすると、フォルダダイレクト機能が正常動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	復元タイプをパーティション単位にして運用してください。	
	瞬間復元ドライバ	Windowsのオフラインファイル機能を利用しているPCに、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位でインストールすると、オフラインファイル機能が正常動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	復元タイプをパーティション単位にして運用してください。	
	クライアント機能	タスクトレイのスパナアイコンの色が異なるモードを示す色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	タスクトレイのスパナアイコンを右クリックすると、正しい色になります。	
	クライアント機能	瞬快クライアントがインストールされたPCのファイルシステム異常を検知したときの動作を変更しました。	PCの強制シャットダウンなどが原因でファイルシステムの異常を検知した場合、これまでは警告メッセージを表示するとともに、タスクトレイのスパナアイコンを赤色にしていましたが、警告メッセージの表示のみとしました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	なし	
	資源配付機能	資源配付機能による、クライアントPCでの資源受信中は、誤操作防止のためキーボードとマウスが動作しないようにロックをかけているが、このときにスクリーンセーバーが動作すると解除できなくなってしまう。	クライアントPCでの資源受信中は、スクリーンセーバーが動作しないようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上	Ctrl+Alt+Delキーを押すと、スクリーンセーバーを解除できます。	
	資源配付機能	資源配付機能のテスト配付にて、クライアントPC側における適用/解除操作を行った後、瞬快の動作モードが配付前の動作モードに戻らないまま終了してしまう。	テスト配付の適用や解除を行った場合は、必ず配付前の動作モードに戻るようプログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 並+資源OP 上+資源OP 特上	なし	
	管理機能	瞬快管理機能で、「マルチブートグループへコピー」の機能を使ってコピーしたクライアントPCが消える場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	Linuxグループへコピーする場合に、Windowsと同名のコンピュータ名でコピーしないでください。	
	Windows Update連携	Windows Firewallのサービスを「無効」にしたWindows Server2008またはWindows Vistaに瞬快サーバをインストールし、瞬快のWindows Update連携を行うと、クライアントPCでWindows Updateが開始されない。 ※サービスを無効にするとは、コントロールパネルの「Windowsファイアウォール」で無効にするのではなく、管理ツール内のサービスから「Windows Firewall」のサービスを無効にした場合です。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	管理ツール内のサービスから「Windows Firewall」のサービスを無効にせず、コントロールパネルの「Windowsファイアウォール」で無効にして、Windows Update連携を行ってください。	
	利用情報収集機能	利用情報収集機能で、クライアントPCからイベント情報がアップロードできない状態になってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	瞬快クライアントを再インストールしてください。	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能の電源ON機能で、IPアドレスが空のクライアントPCに対して電源ONをすると失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	クライアントPCのIPアドレスが正しく入力された状態で電源ONを行ってください。	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能でリモート操作中に管理コンソールが起動しているPCのキーボードからCtrl+Alt+Delを押下すると、モニタリングされているクライアントPC側のキーボード操作が正しく動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	クライアントPCを再起動してください。	
	リモート画面操作機能	(株)高知システム開発社製のPC-TalkerがインストールされたWindows Vistaに瞬快クライアントをインストールし「点字キーモード」にすると、キーボードの操作ができなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Rel.7.0a以前 【グレード】 全グレード	瞬快クライアントをインストールする場合に、リモート画面操作クライアントの機能をインストールしないでください。	